

お祭りの手作りロケットが原因か・・・ - 西日本防災システム

2013 10 13

10月13日午後4時20分頃、埼玉県秩父市下吉田の山林から出火し、杉林100㎡が焼けました。この火災による負傷者や類焼はなかったそうです。

この日現場付近では、**龍勢祭**というお祭りが行われていて、小鹿野署によりますと、打ち上げられた**龍勢**(花火)の一部が山林に落ちて草に引火したところを警戒中の消防署員が発見、約20分ほどで鎮火したようです。ロケットはやぐらから発射され、火薬に着火し、通常は上空約300~500メートルまで上がるそうです。事故当日のものは、高度が足りず、火が消えないまま落下したとみて、詳しい原因を調べているそうです。

龍勢は、筒に黒色火薬を詰め込み、竹竿を結んだ花火で、上空で傘が開いて、様々な仕掛けが見られる花火だそうです。

龍勢祭りは、埼玉県秩父市下吉田にある棕神社で行われる祭りで、毎年10月の第二日曜日に実施されるそうです。30数本の**龍勢**を轟音とともに天高く打ち上げ、上がった龍勢は、発煙等の仕掛けが展開される他、パラシュート状の物体を放出することもあるそうです。この祭りで奉納される**龍勢**は各流派の手作りで作成されるんだそうで、農民ロケットとも呼ばれているそうです。

名前の由来は、打ち上げられた花火が、龍のような勢いだったことから、龍勢と呼ばれるようになったんだそうです。

警戒中だった と言う事でこの程度で収束して良かったですね。来年も火の用心でお願い致します。



西日本防災システム

NISHINON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

